

全体会プログラム

日 時:10月13日(日) 8:55～12:30
会 場:あきた芸術劇場「ミルハス」大ホール

参加者 249名



司会：北川楓夏さん



表彰者席



観客席から見た全体会式典の様子

全体会プログラム 表彰状・感謝状授与式

日時:10月13日⑩ 8:55～12:30
会場:あきた芸術劇場「ミルハス」大ホール

全国表彰受賞者31名、感謝状受賞者9名



東北ブロック大会表彰受賞者7名、感謝状受賞者2名



秋田県大会表彰受賞者8名、秋田県知事表彰者5名



全国表彰・東北ブロック表彰 記念品
大館工芸社 曲げわっぱ 丸盆（濃紺）

全体会プログラム 来賓者ご祝辞

日時:10月13日⑩ 8:55～12:30
会場:あきた芸術劇場「ミルハス」大ホール



秋田県知事 佐竹敬久 様
【代理】秋田県副知事
神部 秀行 様



秋田市長 穂積 志 様



内閣府特命担当大臣 三原
じゅん子 様【代理】内閣府
政策統括官付参事官
古屋 勝史 様



法務大臣 牧原秀樹 様
【代理】法務省民事局参事官
波多野 紀夫 様



文部科学大臣 阿部俊子 様
【代理】文部科学省初等中
等教育局 特別支援教育課長
生方 裕 様



厚生労働大臣 福岡資麿 様
【代理】厚生労働省 障害
保健福祉部障害福祉課長
伊藤 洋平 様



こども家庭庁長官 渡辺由
美子 様【代理】こども家庭
庁支援局障害児支援課長
小野 雄大 様



参議院議員 山本 博司 様



衆議院議員 富樫 博之 様

全体会プログラム シンポジウム

日時:10月13日⑩ 10:15～12:15
会場:あきた芸術劇場「ミルハス」大ホール

中央情勢報告	法制度のうごき・全育連のうごき 全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事兼事務局長 又村 あおい氏
--------	--

シンポジウム コーディネーター	「知的障害者福祉の未来」 全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事兼事務局長 又村 あおい氏
シンポジスト	「のぞみの園の取組について」 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 理事長 田中 正博氏
シンポジスト (動画参加)	「これからの社会と障害者福祉」 植草学園大学 副学長・教授 野澤 和弘氏
シンポジスト	「知的障害者福祉の未来」 一般社団法人日本発達障害ネットワーク 副理事長 大塚 晃氏
シンポジスト	「障害のある方の生涯学習推進に向けて」 秋田大学大学院教育学研究科 教授 藤井 慶博氏



ともだちの会全体会の様子

日 時: 10月13日⑩ 9:00～12:00

場 所: あきた芸術劇場ミルハス 小ホールB

参加者 152名



ウクレレ漫談ショー



おとぼけマジックショー



グッパ体操

全体会 大会宣言決議

日時:10月13日(日) 12:15~12:30
会場:あきた芸術劇場「ミルハス」大ホール

秋田県手をつなぐ育成会
副会長 麓 幸子氏



第九回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会秋田大会

大会決議文

私たちは、第九回「全国手をつなぐ育成会連合会」全国大会を、ここ美しい自然に恵まれた秋田において開催しました。二日間で約千五百人の方々にご参加をいただいた本大会では、「共生社会をめざし、将来を見据えた活動を続けよう」を大会テーマとして、各分野の現状の課題について討議を行いました。

今大会の成果を踏まえつつ、秋田から、育成会活動の「新たな一歩」を全国に発信するため、次の事項を決議し、政府をはじめとする関係機関へ要望いたします。

一、今年は元日に発生した能登半島地震をはじめ、全国的に大きな地震が発生している。さらに短時間に局地的な風水害が発生するなど気候変動が激しくなっている。被災地の復興支援を継続して強化するとともに、災害時において障害者の命を守るという視点から今後の災害対策について万全を期すること。

一、近年の急激な物価高騰が継続していることを踏まえ、障害基礎年金が収入の大半を占める非課税世帯の障害者に対し、追加的な生活支援策を早急に検討・実施すること。また、年金額についても生活保護制度に定める最低所得水準の保証をすること。

一、共生社会の実現に向け、様々な心身の特性を有するすべての人々が、相互に理解を深め、支え合う「心のバリアフリー」を広める取り組みをより推進するとともに、共生社会の基本理念の普及啓発に向けて、広報・研修の機会を拡大すること。

一、国連障害者権利条約の対日審査勧告を踏まえ、国内の障害者施策を点検し、障害当事者の声を踏まえつつ、早急に必要な法制度の改善を進めること。

一、インクルーシブ教育の実現を目指す中で、知的障害をはじめとする障害のある児童・生徒と保護者がその子にとってより良い「学び方」を選び取れることを基本として、一人ひとりのニーズに応じた教育現場における合理的配慮を切れ目なく受けることができ、地域の子どもたちと共に学べるよう、個々の障害児の学びの保障を実現する方策を講じること。

一、成年後見制度については、法制審議会民法部会で「必要な期間のみ利用する」仕組みが検討されていることを踏まえ、成年後見制度だけに頼ることなく、真に利用しやすい、地域における権利擁護の仕組みを確立すること。

一、国連障害者権利条約の対日審査でも指摘されたとおり、入所施設だけでなく、グループホームを含む「特定の生活施設」に住むことを義務付けられることなく、知的障害者と家族が本人にとってより良い「暮らし方」を選択できるよう、今後の障害福祉サービス等のあり方について、地域生活支援体制の整備や専門人材の育成を進めること。

一、障害者の虐待防止について、養護者や障害福祉サービス従業者等、使用者による虐待が発生しないように教育、研修体制をさらに充実させること。

一、療育手帳（愛の手帳・緑の手帳など）は、現に交付対象となっている人が不利益にならないことを前提に、判定に関する研究を進め、全国統一的な判定基準を導入し、知的障害者福祉法へ位置付けること。また、手帳のカード化を選択できるようにすること。

一、重度障害のある人や高齢期を迎えた人も暮らし続けることができるグループホームを整備するとともに、グループホーム家賃補助制度について、金額の引上げと地域別基準額の設定などの充実を図ること。また、一人暮らしなど暮らしの選択肢を広げるため、家賃補助制度の一般住居への拡大を図ること。

一、障害児を育てる保護者の就労保障と、子どもの育ちが両立できる制度、サービスを整えること。あわせて児童期における親子支援やヤングケアラー問題を含む兄弟姉妹への支援を充実させ、地域からの孤立を防止すること。

一、育成会の活動は知的障害のある本人が中心であり、全国各地で本人活動を積極的に支援し、本人の声を実現すること。そのために、各育成会は積極的に知的障害のある人を役員として迎え入れ、全育連では知的障害のある人が役員として活躍するために必要な合理的配慮などの研究を進めること。

以上、決議します。

令和六年十月十三日

第九回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会秋田大会 参加者一同

全体会 ともだちの会(本人大会)決議

日時:10月13日(日) 12:15~12:30
会場:あきた芸術劇場「ミルハス」大ホール

秋田県ともだちの会
小山田 弘佑さん
嶋田 朋華さん



だいきゅうかいぜんくわて
いっせいかいれんくわいぜんくわたいかいあきただいかい
第九回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会秋田大会

たいかい
ほんにたいかい
けつぎらん
ともだち大会(本人大会) 決議文

私たちの活動は、たくさんの人に支えられています。
私たちの思っていることをたくさんの人に知ってもらい、
私たちの暮らしが、もっと豊かになるように願って、
次のとおり全国大会の本人大決議宣言をします。

一、 私たちに関係することは、私たちの意見を聞いてください。

一、 私たちが災害や地震にあったとき、どんな状況なのか、どうやって動いたらいいのか
教えてください。

一、 私たちがわかりやすい言葉や一目でわかる絵や記号は、みんなが見てもわかりやすいです。

そんな言葉、絵や記号を広めてください。

一、 私たちは、差別されたり、偏見の目で見られたりすると、本当に悲しいです。

障害が重くても軽くても、同じ人として接してください。

一、 私たちが一人でもイベントなどに参加できるように、必要な支援をお願いします。

一、 療育手帳の名前や内容は全国で同じにしてください。見せやすいようにカードにしてください。

一、 私たちはこれから年を取ります。特に親がいなくなったあとを支える仕組みをつくってください。

一、 障害者手帳を持っている人はみんな、一人ひとりで生活ができるくらいに障害基礎年金が

受け取れるようにしてください。

以上を決議します。

令和六年十月十三日

第九回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会秋田大会

「ともだち大会」参加者一同

全体会 次期開催地挨拶(東京)

日時:10月13日⑩ 12:15~12:30
会場:あきた芸術劇場「ミルハス」大ホール

東京都手をつなぐ育成会
理事長 立原 麻里子氏



< 発行 >

公益社団法人 秋田県手をつなぐ育成会

〒010-0922

秋田県秋田市旭北栄町 1 - 5

(秋田県社会福社会館内)

TEL/FAX : 018-864-2718

URL : <https://www.akita-ikuseikai.jp/>

E-mail : akiteiku@khaki.plala.or.jp